



令和8（2026）年7月13日

報道関係者 各位

国立アイヌ民族博物館

朝鮮人漂着330年を記念したシンポジウムを9月に開催

「北の海をめぐるアイヌと朝鮮の出会い」をテーマに国内外の研究者が集う

国立アイヌ民族博物館（北海道白老町、野本正博館長）は、2026年9月13日（日）に「朝鮮人漂着330年記念シンポジウムー北の海をめぐるアイヌと朝鮮の出会いー」を開催します。

1696年の李志恒ら朝鮮人の漂着事件から330年を迎えるにあたり、本シンポジウムでは、この出来事を日朝関係や北海道の地域社会、アイヌの交易、文化交流など多様な視点から捉えます。関連分野の研究者が知見を共有するとともに、相互に議論を深める機会とします。

朝鮮人漂着330年記念シンポジウム ー北の海をめぐるアイヌと朝鮮の出会いー

日時：2026年9月13日（日）
10:00～17:00（9:30開場）
会場：国立アイヌ民族博物館 交流室
定員：100名（当日受付・先着順）
参加費：無料（別途ウポポイ入場料が必要です）
言語：日本語（資料集は日本語・韓国語併記）
主催：国立アイヌ民族博物館
後援：駐札幌大韓民国総領事館

※ 本事業は、JSPS科研費（課題番号：25K04414）の助成を受けて実施するものです。



シンポジウム チラシ

本件に関するお問い合わせ先

（公財）アイヌ民族文化財団 民族共生象徴空間運営本部 誘客広報課 松橋
TEL: 0144-84-7318 FAX: 0144-82-3685
E-mail: submit@ainu-upopoy.jp

プログラム内容

※ 講演は「発表50分＋質疑10分」、報告は「発表25分＋質疑5分」

【第1部】日朝関係と漂流民

時間	プログラム	登壇者	発表内容
10:00～10:10	開会の挨拶		
10:10～11:10	基調講演	池内 敏 名古屋大学 名誉教授	漂流・漂着から見る近世の日朝関係
11:10～11:40	報告①	河 宇鳳 全北大学校 名誉教授	朝鮮漂流民の日本認識－李志恒の漂舟録を中心に－
11:40～13:00	休憩		

【第2部】北海道を舞台とした交流

13:00～13:30	報告②	シン ウォンジ 国立アイヌ民族博物館 研究員	朝鮮人漂着事件をめぐる松前藩の記録
13:30～14:00	報告③	山谷 文人 利尻富士町教育委員会 次長 兼学芸係長兼企画管理係長	漂着記録にみる利尻・礼文の地名と景観
14:00～14:30	報告④	西谷 榮治 元利尻町立博物館 学芸課長	李志恒「漂舟録」に記されている漂着蝦夷地の「もの」
14:30～14:50	休憩		
14:50～15:20	報告⑤	泊 功 函館工業高等専門学校 一般人文系 教授	朝鮮漂流官人李志恒と松前阿吽寺僧釈智潤の唱酬詩について
15:20～15:50	報告⑥	中村 和之 函館大学商学部 教授	李志恒が見た北海道北部のアイヌの人たち
15:50～16:10	休憩		
16:10～16:50	総合討論	北の海がつなぐ歴史と文化	
16:50～17:00	閉会の挨拶		

＼シンポジウム詳細ページ／

シンポジウム詳細ページのURL

<https://ainu-upopoy.go.jp/event/symposium20260913/>



本件に関するお問い合わせ先

(公財) アイヌ民族文化財団 民族共生象徴空間運営本部 誘客広報課 松橋
TEL: 0144-84-7318 FAX: 0144-82-3685
E-mail: submit@ainu-upopoy.jp